

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善による消費の持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外経済の不確実性など先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、以下のとおりとなりました。

売上高は、主に航空機エンジン部品や空港店舗、免税店舗販売が増加したことなどにより、前年同期比2,433百万円(107.3%)増収の35,726百万円となりました。売上総利益は、売上高の増加により、前年同期比380百万円(107.1%)増益の5,761百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、空港店舗や免税店舗販売の増加に伴い歩合家賃が増加したことなどにより、前年同期比205百万円増加となりました。

営業外収益・営業外費用は、持分法による投資利益が増加しました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比247百万円(158.2%)増益の674百万円となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成28年4～6月)	当第1四半期 (平成29年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	33,292	35,726	107.3	2,433
売上総利益	5,381	5,761	107.1	380
営業利益	739	914	123.7	175
経常利益	748	1,054	140.9	306
親会社株主に帰属する 四半期純利益	426	674	158.2	247

[セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。各業績数値は、セグメント間の内部売上高及び振替高、配賦不能営業費用(管理部門の費用等)調整前の金額です。

なお、当第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連事業を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品関連事業を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署を各報告セグメントに移管しております。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組換再表示しています。

① 航空・空港関連事業

当セグメントでは、主に航空機関連での航空機や航空機部品(エンジン部品等を含む)、機材関連での空港特殊車両や整備用機材などの販売を行っています。

航空機関連は、主力である重工業向け航空機エンジン部品や産業用ガスタービン部品の販売が増加し、また機材関連での整備用機材などの販売も増加し、好調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高14,196百万円、営業利益188百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

航空・空港関連事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成28年4～6月)	当第1四半期 (平成29年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	12,412	14,196	114.4	1,783
営業利益	159	188	118.5	29

② ライフサービス事業

当セグメントでは、主に不動産関連での不動産販売・分譲・仲介・賃貸、施設管理、介護関連施設賃貸・運営、保険関連での損害・生命保険の保険代理店業、環境関連での道路補修材などの販売を行っています。

不動産関連は、本年4月に開業したサービス付アパートメント「L'axe Sriracha (ラグゼ・シラチャ)」(タイ王国)の開業費用が発生し、また前第1四半期の国内事業用不動産販売の反動減などにより前年を下回りました。保険関連は、法人向け保険の拡大などにより、順調に推移しました。環境関連は、米国の連結子会社Aqua Patch Road Materials, L.L.C.における道路補修材「AQUA PATCH (アクアパッチ)」*の販売体制強化に伴う費用などが発生しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高2,723百万円、営業利益250百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

*AQUA PATCH：水をかけるだけで素早く硬化する特徴をもつ道路補修材

ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成28年4～6月)	当第1四半期 (平成29年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	3,572	2,723	76.2	△848
営業利益	326	250	76.8	△75

③ リテール事業

当セグメントでは、主に空港店舗、空港免税店舗、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売、外食業などを行っています。

空港店舗関連は、株式会社JALUXエアポートが運営する「BLUE SKY」が好調に推移しました。ブランド・免税関連は、国内空港免税店舗(成田・羽田空港)や免税店舗向け卸販売が、訪日外国人数増加や日本製品の需要増加などにより、好調に推移しました。また海外空港免税店舗(ベトナム社会主義共和国 ノイバイ国際空港)は順調に推移しました。通信販売関連は、販促施策強化によりインターネット通販が伸張り順調に推移しました。贈答用食品関連は、百貨店向けなどの販売が減少しました。外食関連は、前期(昨年9月)にフレンチレストランが開業し、増収となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高12,595百万円、営業利益620百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成28年4～6月)	当第1四半期 (平成29年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	11,457	12,595	109.9	1,137
営業利益	466	620	133.0	154

④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、主に農水産物、ワイン、加工食品などの販売を行っています。

水産関連は、主力であるサバやサーモンなどの水産物販売を中心に増加し好調に推移しました。農産関連は、主力であるパプリカなどの西洋野菜の販売減少や一部国産品の供給増による輸入青果の需要減などにより、低調に推移しました。ワイン・加工食品関連は、ブランド力のあるワインを中心にホテル・レストラン向け業務用卸販売や当社オリジナル菓子類などの公共交通施設向け卸販売の増加により、好調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高6,474百万円、営業利益291百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成28年4～6月)	当第1四半期 (平成29年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	6,069	6,474	106.7	405
営業利益	216	291	135.0	75

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

配当金や法人税の支払いにより現預金が減少しました。一方で、航空機関連の売掛金が増加しました。
その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して639百万円減少し、43,295百万円になりました。

(負債)

仕入債務の支払い、法人税の支払いを行いました。また、短期借入金の返済を行いました。
一方で、コマーシャル・ペーパーの発行を行いました。
その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して510百万円減少し、21,979百万円になりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、利益剰余金が増加しました。
一方で、為替の変動により為替換算調整勘定が減少しました。また、配当により非支配株主持分が減少しました。
その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して128百万円減少し、21,316百万円になりました。
また、自己資本比率は0.6ポイント増加し、46.2%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,258,404	4,766,865
受取手形及び売掛金	13,604,220	14,392,801
たな卸資産	11,071,622	10,654,678
その他	4,050,505	4,193,223
貸倒引当金	△27,039	△25,943
流動資産合計	34,957,714	33,981,625
固定資産		
有形固定資産	4,215,411	4,425,352
無形固定資産	399,797	379,626
投資その他の資産		
その他	4,387,929	4,534,888
貸倒引当金	△25,936	△25,732
投資その他の資産合計	4,361,993	4,509,155
固定資産合計	8,977,202	9,314,134
資産合計	43,934,917	43,295,759
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,746,049	8,830,616
短期借入金	3,503,153	3,045,082
未払法人税等	745,123	269,513
未払費用	3,011,991	2,915,816
その他	2,493,668	3,680,101
流動負債合計	19,499,985	18,741,130
固定負債		
長期借入金	2,159,701	2,395,306
退職給付に係る負債	35,429	35,695
その他	794,606	807,069
固定負債合計	2,989,737	3,238,071
負債合計	22,489,722	21,979,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	688,723	688,723
利益剰余金	17,130,525	17,172,013
自己株式	△134,674	△134,674
株主資本合計	20,243,124	20,284,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,314	28,661
繰延ヘッジ損益	22,908	24,216
為替換算調整勘定	△183,270	△279,208
退職給付に係る調整累計額	△60,886	△56,988
その他の包括利益累計額合計	△217,933	△283,320
非支配株主持分	1,420,003	1,315,265
純資産合計	21,445,194	21,316,557
負債純資産合計	43,934,917	43,295,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	33,292,937	35,726,306
売上原価	27,911,914	29,964,695
売上総利益	5,381,022	5,761,611
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	384,491	383,013
給料及び手当	1,614,561	1,685,942
退職給付費用	61,545	61,206
減価償却費	93,717	116,897
貸倒引当金繰入額	△22,419	△745
賃借料	970,859	1,015,290
その他	1,538,837	1,585,172
販売費及び一般管理費合計	4,641,592	4,846,777
営業利益	739,429	914,833
営業外収益		
受取利息	3,478	2,192
受取配当金	16,856	22,309
持分法による投資利益	49,060	115,177
為替差益	-	2,368
その他	17,561	23,907
営業外収益合計	86,956	165,954
営業外費用		
支払利息	14,084	19,821
支払手数料	2,437	1,232
為替差損	56,757	-
その他	5,068	5,407
営業外費用合計	78,348	26,462
経常利益	748,037	1,054,326
特別利益		
固定資産売却益	202	269
特別利益合計	202	269
特別損失		
固定資産処分損	10,691	109
子会社清算損	27,311	-
特別損失合計	38,003	109
税金等調整前四半期純利益	710,236	1,054,486
法人税等	242,710	301,936
四半期純利益	467,525	752,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,457	78,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,068	674,064

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	467,525	752,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,661	24,581
繰延ヘッジ損益	△70,922	1,307
為替換算調整勘定	△216,889	△94,530
退職給付に係る調整額	5,165	3,897
持分法適用会社に対する持分相当額	△20,735	△3,909
その他の包括利益合計	△315,043	△68,653
四半期包括利益	152,482	683,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,110	608,677
非支配株主に係る四半期包括利益	29,371	75,218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,408,650	3,552,963	11,446,128	5,885,195	33,292,937	—	33,292,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,598	19,669	11,668	184,342	219,278	△219,278	—
計	12,412,248	3,572,632	11,457,796	6,069,537	33,512,215	△219,278	33,292,937
セグメント利益	159,425	326,499	466,572	216,251	1,168,748	△429,319	739,429

(注) 1. セグメント利益の調整額△429,319千円には、セグメント間取引消去1,138千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,460千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,189,372	2,688,055	12,581,014	6,267,864	35,726,306	—	35,726,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,815	35,685	14,027	207,105	263,633	△263,633	—
計	14,196,187	2,723,740	12,595,042	6,474,969	35,989,940	△263,633	35,726,306
セグメント利益	188,898	250,865	620,760	291,936	1,352,460	△437,627	914,833

(注) 1. セグメント利益の調整額△437,627千円には、セグメント間取引消去9,173千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△446,800千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連事業を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品関連事業を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署を各報告セグメントに移管しております。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。